

事務事業評価シート 令和 1 年度事後評価・決算

令和 3 年 2 月 22 日時点

事務事業名		30220	橋梁長寿命化修繕事業	予算科目	会計	款	項	目	担当班	土木班
実施体系		基本施策	18	安全で快適な道路の整備	根拠法令	一般	8	2	4	事業種別
施策の展開		35	市道の整備	戦略事業	174	橋梁長寿命化修繕事業				
施策の展開				戦略事業						

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない				
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 25 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 令和 年度まで	旭市橋梁長寿命化修繕計画に基づいた、予防保全型の維持管理を行う。 旭市管理橋梁 319橋				
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化		⑤ 事務事業に対する住民からの意見等		
従来の対処療法的な修繕から予防保全的な修繕への転換を図り、長寿命化によるコスト削減を図る。	進展する橋梁の老朽化に対し、効率的かつ効果的な維持管理を行う必要がある。		特になし		

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(1年度の決算) 単位:千円		単位	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	1年度(決算)	2年度(予算)
1.工事請負費	橋梁改修工事	千円	43,671	14,071	32,161	16,500	
2.委託料	22,152 調査・設計委託、調査・測量委託	千円	19,764	9,522	3,758	22,152	47,696
② 特定財源の内訳(1年度の決算) 単位:千円		事業費計 (A)	63,435	23,593	35,919	22,152	64,196
1.国庫支出金	7,150 社会資本整備総合交付金	千円	27,857	10,340	16,500	7,150	20,350
2.都道府県支出金		千円					
3.地方債		千円					
4.その他		千円	19,409				
前年度増減理由 橋梁維持補修工事を発注していないため		5.一般財源	16,169	13,253	19,419	15,002	43,846

従事職員数 常時 2 人 最大 人 × 日 = 延べ 人

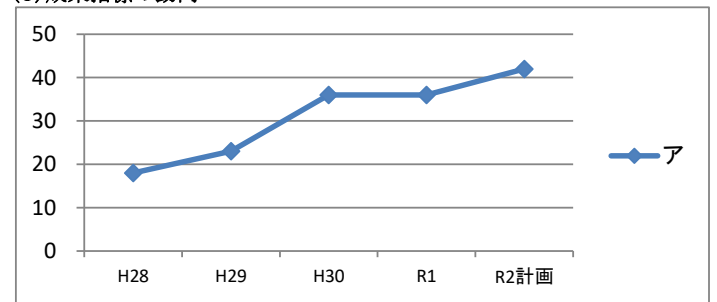
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(計画)
	1年度実績(1年度に行った主な活動)	ア 補修橋梁数	橋	2	5	13	0	6
橋梁補修設計業務委託		イ 点検橋梁数	橋	114	4	0	74	127
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(計画)
	対象 市道及び利用者	ア 補修済橋梁数	橋	18	23	36	36	42
安全かつ円滑な交通の確保		イ						
対象 道路橋下の管理者								
意図 第三者への被害の防止								

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果	
施策貢献度	成果向上余地	評価結果	コスト比率
	かなりある		下位 1/3
	ある程度ある		中位 1/3
	ほとんどない		上位 1/3
大きい		①	
普通		②	
		③	
小さい		④⑤	
		⑥	
		⑦⑧	(7)
		⑨	

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難				
	【コメント】(停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)					
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値増＝成果向上	☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下 ☐ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下	比較 27年度 28年度 29年度 30年度 1年度
	【コメント】(低下の場合、その理由)					28年度 29年度 30年度 1年度 2計画
③ 今年度取組事項(2年度に取り組む主な事項について記載)		時期	内容		今後の方向性	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 見直し ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ その他()
令和2年度			橋梁維持補修工事の発注 橋梁設計業務委託			